

富士見中学高等学校ルーブリック

	評価項目	定義	E	D	C	B	A	S
自分と向き合う力 (自分を 知る)	①自分の意見を形成する力	様々な情報をもとに自分の意見を形成する力	自分の意見を持っていない。	意見はあるが、明確な理由がない。	少ない情報をもとに、意見を形成している。	様々な情報をもとに、自分の意見を形成している。	様々な情報を批判的に捉え、それを根拠にし、自分の意見を形成している。	どのような状況においても、様々な情報を批判的に捉え、それを根拠にし、自分の意見を形成している。
	②チャレンジする力	自らを高めるための目標を設定し、達成しようとする力	これまでに自分が達成したことしか取り組んでいない。	未達成のことに取り組んでいる。	自分から未達成のことに取り組んでいる。	困難な課題に対して失敗を恐れず、自分から未達成のことに取り組んでいる。	困難な課題に対して失敗を恐れず、自分から未達成のことに取り組んでいる。また、失敗や経験を次に活かそうとしている。	どのような状況においても、困難な課題に対して失敗を恐れず、自分から未達成のことに取り組んでいる。また、失敗や経験を次に活かしている。
	③計画を立てる力	課題解決のために計画を立てる力	指示を受けても計画を立てない。	指示されたとおりに計画を立てている。	指示されたとおりに、実現可能な計画を立てている。	自分で見通しを立て、実現可能な計画を立てている。	自分で見通しを立て、実現可能な計画を立てている。また、柔軟に修正できる。	想定外の事態が起こっても、実現可能な計画を立てている。また、柔軟に修正できる。
	④やりとげる力	課題を最後まであきらめず取り組み、やりとげる力	課題をやりとげる前にやめてしまう。	課題をやりとげてはいはいるが不備がある。	課題を不備なく最後までやりとげている。	様々な工夫をしながら、課題を最後までやりとげている。	様々な工夫をしながら、課題を最後までやりとげている。その工夫が成果物に反映されている。	どのような状況においても、様々な工夫をしながら、課題を最後までやりとげている。その工夫が成果物に反映されている。
	⑤自らを振り返る力	自分の考えや行動を振り返り、次の考えや行動につなげる力	機会を与えられても、振り返らない。	機会を与えられれば、振り返ろうとするが、自分の考えや行動の振り返りにはなっていない。	機会を与えられれば、次につながるように自分の考えや行動を振り返ることができる。	自ら機会を見つけて、自分の考えや行動を振り返ることができる。	自ら機会を見つけて、振り返ったことを次の考えや行動につなげ、改善しようとしている。	どのような状況においても、振り返ったことを次の考えや行動につなげ、改善しようとしている。
人と向き合う力 (協働する)	⑥聴く力	他者の話を聴き、正しく理解する力	他者の話を聴いていない。	他者の話を聴き、その内容を部分的に理解している。	他者の話を聴き、その内容を総合的に理解している。	他者の話を聴き、その内容を総合的に理解して、自分の言葉で要点をまとめることができる。	他者の話を聴き、その内容を総合的に理解して、自分の言葉で要点をまとめることができる。その上で、適切な質問ができる。	どのような状況においても、他者の話を聴き、その内容を総合的に理解して、自分の言葉で要点をまとめることができる。その上で、適切な質問ができる。
	⑦人を巻き込む力	課題解決のために他者の参加を促す力	自分がすべきことをしていない。	自分がすべきことをしている。	自分がすべきことをした上で、他者の参加を促している。	自分がすべきことをした上で、他者を参加させることができる。	自分がすべきことをした上で、他者が当事者意識を持つように参加させることができる。	どのような状況においても、自分がすべきことをした上で、他者が当事者意識を持つように参加させることができる。
	⑧人とつながる力	互いに理解し合い、信頼関係を築く力	他者に対して関心を持っていない。	他者に対して関心を持っている。	他者に対して関心をもち、理解しようとしている。	自分が他者と異なることを認め、相互理解しようとしている。	自分が他者と異なることを認め、相互理解しようとしている。また、その違いを考慮して、互いの特性を課題解決に活かしている。	自分が他者と異なることを認め、相互理解しようとしている。また、その違いを考慮して、互いの特性を課題解決に活かすことを通じて、信頼関係を築いている。

	評価項目	定義	E	D	C	B	A	S
人と向き合う力（協働する）	⑨話し合う力	話し合いの目的を共有し、意見を述べ合い、調整する力	自分の意見を述べていない。	自分の意見を述べている。	話し合いの目的を共有し、全員で意見を言い合っている。	話し合いの目的を共有し、それを達成するために意見を言い合い、まとめようとしている。	話し合いの目的を共有し、それを達成するために意見を言い合い、合意形成している。	どのような状況においても、話し合いの目的を共有し、それを達成するために意見を言い合い、合意形成している。
	⑩発表する力	他者に伝わるように発表する力	手元の資料を見て、聞き取れない話し方をしている。	聞き手を気にしながら（声の大きさ、スピード）手元の資料を見て話している。	聞き手の反応を意識しながら話している。	聞き手の反応を意識しながら伝わるように話している。また、質疑応答に答えられている。	聞き手の反応を意識しながら伝わるように話している。また、質疑応答において質問者の意図を理解し、答えられている。	聞き手の反応を意識しながら伝わるように話し、聞き手を魅了している。また、質疑応答において質問者の意図を理解し、答えられている。
	⑪記述する力	他者に伝わるように文章を記述する力	与えられた形式書式を満たして書けていない。	与えられた形式書式を満たして書けている。	人に伝えることを考えて、調べて分かったことを筋道を立てて書けている。	人に伝えることを考えて、調べて分かったことに基づいて自分の意見を書けている。また、必要に応じて図や表を使うなどの工夫が見られる。	人に伝えることを考えて、調べて分かったことに基づいて自分の意見を筋道を立てて書けている。また、必要に応じて図や表を使うなどの工夫が見られる。	人に伝えることを考えて、調べて分かったことに基づいて自分の意見を筋道を立てて書けている。また、必要に応じて図や表を使うなどの工夫が見られ、読み手を魅了している。
課題と向き合う力（課題を解決する）	⑫課題を発見する力	疑問から課題を設定する力	疑問を出すことができない。または対象をよく観察せずに疑問を出している。	対象をよく観察し、疑問を出すことができる。	疑問から課題を設定している。	疑問から探究活動にふさわしい課題を設定している。	他者と異なる視点で、疑問から探究活動にふさわしい課題を設定している。	他者と異なる視点で、疑問から探究活動にふさわしい課題を設定している。また、日常的に様々なことに疑問をもつことができる。
	⑬情報を活用する力	様々な情報を収集し、必要な情報を選択する力	情報を収集していない。	情報を収集している。	複数の情報源を用いて、情報を収集している。	複数の情報源を用いて、信頼性の高い情報を収集している。	複数の情報源を用いて、信頼性の高い情報を収集し、課題解決の根拠となる情報を選択している。	複数の情報源を用いて、信頼性の高い情報を収集し、課題解決の根拠となる情報を選択している。また解決すべき課題に応じて、使用する情報源を判断できている。
	⑭多角的に考える力	様々な視点をもとに、比較して考える力	決められた視点をもとに考えることができない。	決められた視点をもとに考えることができる。	決められた視点をもとに比較して考えることができる。	様々な視点をもとに比較して考えることができる。	様々な視点をもとに比較して考えたことを、自分の意見に統合している。	日常的に、様々な視点をもとに比較して考えたことを、自分の意見に統合している。
	⑮論理的に考える力	根拠を明確にし、結論を導き出す力	矛盾や飛躍が多い。	矛盾や飛躍はあるが、物事の関係性を明らかにしようとしている。	物事の関係性を明らかにし、結論を導き出している。	根拠を明確にして、物事の関係性を明らかにし、結論を導き出している。	情報を吟味し、根拠を明確にした上で、物事の関係性を明らかにし、結論を導き出している。	複雑な事象について、情報を吟味し、根拠を明確にした上で、物事の関係性を明らかにし、結論を導き出している。
	⑯創造する力	自由なものの見方と発想から、アイデアを生む力	アイデアを出していない。	アイデアを出している。	課題解決のための自分なりのアイデアを出している。	自由なものの見方と発想から、課題解決のための自分なりのアイデアを出している。	自由なものの見方と発想から、課題解決のための、他者が認めるアイデアを出している。	自由なものの見方と発想から、課題解決のための社会的に価値のあるアイデアを出している。
	⑰社会に貢献しようとする力	社会を支える当事者としての意識を持ち、地域や国内外の未来を真剣に考える力	自分と社会のつながりに気づいていない。	自分と社会のつながりに気づいている。	自分と社会のつながりを捉え、社会をより良くしようというアイデアを持っている。	社会を支える当事者として、社会をより良くしようという説得力のあるアイデアを持っている。	社会を支える当事者として、社会をより良くしようという説得力のあるアイデアを持っている。その上で、多様なものへの寛容性や地球市民としての視野を持っている。	社会を支える当事者として、社会をより良くしようという説得力のあるアイデアを持っている。その上で、多様なものへの寛容性や地球市民としての視野を持ち、行動している。